

令和 4 年 1 月 13 日

池上地区まちおこしの会

会員 各位

池上地区まちおこしの会

会長 吉澤 正宣

池上地区まちおこしの会 会のあり方検討の取り組みについて

日頃より当会活動に対して、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。現在、当会は 2021 年度事業として「会のあり方検討」に取り組んでいます。今回のお知らせは、本取り組みについて、現在の状況を会員皆様へ広くお知らせすることを趣旨としてお送りするものです。

また、1 月 30 日（日）は「いけまち談義」と題するトークイベントへの出演が決定しました。本イベントは、会のあり方検討での出会いを契機として実現したものです。

以上、2 点について下記資料を同封いたしましたので、どうぞご高覧いただきますよう、お願いいたします。

記

- 送付資料 -

- ① 会のあり方検討に関する活動報告（概要）
- ② 会のあり方検討に関する活動報告（詳細）
- ③ トークイベント「いけまち談義」案内

【お問い合わせ】

池上地区まちおこしの会 事務局長 國廣
mail : ikemachi146@gmail.com

会のあり方検討に関する活動報告（概要）

1 あり方検討について

（１）背景

2020年に始まるコロナ禍の影響により、会の事業は全て中止となっています。他方、会が2022年7月に設立から20年を迎えようとする今、「これまでの活動を総括し、今後に向けた会のあり方を考えることが必要」との認識から、「会のあり方検討」を2021年度の事業として取り組むこととしました。

（２）活動実績

8月～9月は「これまでの棚卸（ステップ1）」、続く10月～12月は「会の整理・体系化（ステップ2）」に取り組みました。現在は「事業の充実（ステップ3）」をテーマとして、年度内の取りまとめを目標に、議論を進めています。

2 議論の概要

（１）会の活動目的を検討しました

「これまでの棚卸（ステップ1）」での議論を踏まえ、これからの当会は、以下の活動目的を掲げていきたいと考えます。

池上地区まちおこしの会は「池上を好きな人たち」が、「人とのつながり」を大切に、「池上でやりたいこと」を実現することで、池上がいきいきとした魅力あるまちになることを目的に活動する。

（２）新たな組織設計案を検討しました

これからの活動目的を実現していくため、会の組織設計を改めたく考えています。事務局には「総務・財政・広報」の3担当を置き、会運営の自立化に向けた取り組みを進めていきます。また、新たに設置する連携事業部には「渉外・事業」の2担当を置き、池上内外における「つながりづくり」に取り組みます。

① 事務局	→ 会の運営を担う
② 連携事業部	→ 「池上ファン（内外を問わず）とのつながり」を生み出す
③ 池上まつり運営部	→ 「池上ファン（内外を問わず）とのつながり」を更に大きな輪へ広げる

3 今後の動き

「事業の充実（ステップ3）」として、事業のブラッシュアップ・新企画の検討などを進めていきます。また、総会では今回のあり方検討に関する報告・提案について、会員の皆様にご審議いただきたく考えています。

会の今後に関わるこうした議論については、会員皆様の賛否をもって、最終的な意思決定を図ることが必要となるため、同封資料をご参照いただきますよう、改めてお願い申し上げます。

会のあり方検討に関する活動報告（詳細）

I 概要

2020年に始まる新型コロナウイルス感染症の拡大によって、現在まで会の事業は全て中止となっています。他方、会が2022年7月に設立から20年を迎えようとする今、池上を取り巻く現在の状況は、設立当時と比べてさまざまに変化をしています。

こうした背景から、「事業が中止となっている今だからこそ、これまでの活動を総括し、今後に向けた会のあり方を考えることが必要」との課題を会として認識し、「会のあり方検討」を2021年度の事業として取り組むこととしました。

- 会のあり方検討 枠組み -

ステップ1：これまでの棚卸	① 「池上のいま」を知る	概ね2021年9月まで
	② 成果と課題の振り返り	
	③ 活動目的の再検討	
ステップ2：会の整理・体系化	① 部会の見直し・最適化	概ね2021年12月まで
	② 事務局運営力の向上	
	③ 事業と組織の検討	
ステップ3：活動の充実	① 事業のブラッシュアップ	概ね2022年3月まで

II 活動実績

I これまでの棚卸（ステップI）

（I）議論の概要

池上で活動をしている若手の方々と意見交換を行い、「池上のいま」について伺いました。これを踏まえ、会のこれまでを振り返りつつ、これからの池上について会はどのような目的を掲げて活動していくべきか、ワークショップ等を通じた議論を重ね、以下のとおり整理しました。

① 活動のターゲット	→ 「池上が好きな人」がターゲット
	■ 「“池上のいま”を知る」では、「池上内」のみならず、「池上外」からの多様な人材が、池上への思いや興味を持ち、まちに関わろうとしていることを認識した。
	■ 池上の内外を問わず、こうした人々の「池上でやりたい」を実現していくことが、新たなまちの力になっていく。
② 会が大切にする価値観	→ 「つながり」「コラボレーション」という価値観に共感
	■ まちが住みやすく・魅力的であるためには、地域の土台となる「人のつながり」が最も大切である。当会は活動を通じて「人のつながりを作り出すこと」に価値を置く。
	■ また池上の内外を問わず、さまざまな発想・能力を持つ人々との「コラボレーション」が、更なる活動の楽しみ・充実へとつながる。
③ 活動のポイント	→ 会への多様な人材の関わりを期待
	■ 活動に際しては、老若男女、さまざまな人々に参加してほしい。そのためには、活動目的に賛同できる人を募るとともに、参加へのハードルは低く、「会との接点をつくる仕組み」が必要となる。

(2) ステップ1の成果

「これまでの棚卸（ステップ1）」での議論を踏まえ、これからの当会は、以下の活動目的を掲げていきたいと考えます。

池上地区まちおこしの会は「池上を好きな人たち」が、「人とのつながり」を大切に、「池上でやりたいこと」を実現することで、池上がいきいきとした魅力あるまちになることを目的に活動する。

- 議論の様子 -



2 会の整理・体系化（ステップ2）

(1) 議論の概要

「これまでの棚卸（ステップ1）」では、今後会が目指す目的を定めました。続くこの「会の整理・体系化（ステップ2）」では、その目的を実現していくための組織・事業を検討しました。

① 部会事業の位置づけ 検討	→ <u>事業の性質や地区委員会の状況を踏まえ、今後の部会事業を議論</u>
	■ 各部会長から活動の実態・課題をヒアリングした。
	■ これを踏まえ、他地区における地域力推進地区委員会の活動実態、部会事業の性質に鑑み、環境・防災・防犯部会を地域力池上地区推進委員会の分科会活動に位置づける是非について議論した。
② 事務局業務と事業活動 の整理	→ <u>会の自立運営に向け、事務局業務などを整理</u>
	■ 事務局業務の棚卸を行い、会運営の全体像を整理した。
	■ また、会活動目的の実現に寄与する事業について議論した。
③ 組織案の設計	→ <u>活動目的を実現するべく組織案を新たに設計</u>
	■ 棚卸した事務局業務をもとに必要となる各担当を検討した。
	■ また、会活動目的を実現するために連携事業部の設置を検討した。

(2) ステップ2の成果

これからの活動目的を実現していくため、会の組織設計を改めたく考えています（組織設計の詳細は p.5 参照）。事務局には「総務・財政・広報」の3担当を置き、会運営の自立化に向けた取り組みを進めていきます。また、新たに設置する連携事業部には「渉外・事業」の2担当を置き、池上内外における「つながりづくり」に取り組みます。

① 事務局	→ 会の運営を担う
② 連携事業部	→ 「池上ファン（内外を問わず）とのつながり」を生み出す
③ 池上まつり運営部	→ 「池上ファン（内外を問わず）とのつながり」を更に大きな輪へ広げる

Ⅲ 今後の予定

Ⅰ ステップ3の実施

「事業の充実（ステップ3）」では、事業のブラッシュアップ・新企画の検討などを行います。「これまでの棚卸（ステップ1）」「会の整理・体系化（ステップ2）」を踏まえ、これからの活動目的の実現に寄与する議論を進めてまいります。

2 総会の実施

継続的な対話を積み重ね、各テーマの議論を深めていくことを意図して、2週に一回を目安に会のあり方検討を開催してきました。「会のあり方検討」という趣旨に鑑み、会全体へ関与する方を検討メンバー（以下参照）としておりますが、各ステップの報告とこれに基づく提案については、随時役員会を開催し、承認を得てまいりました。



もっとも、会の今後に関わるこうした議論については、会員皆様の賛否をもって、最終的な意思決定を図ることが必要と考えます。会員の皆様におかれましては、本資料をご参照いただくとともに、本年度総会におけるご審議を賜りたく、予めお願い申し上げます。

- 会のあり方検討メンバー -

役職	氏名	役割
会長	吉澤 正宣	会の代表者
副会長	青柳 博之 / 鈴木 重治 / 宮嶋 勝	会の副代表者
事務局長	國廣 孝栄	会事務運営の統括者
会計部会長	永野 宏	会財務の責任者
企画部会長	加部東 広美	会事業の調整・統括者
池上特別出張所	藏方 博史 / 小杉 聡史 / 寺崎 裕量	会事務運営の実務者

Ⅳ 参考情報

Ⅰ 会の情報発信

会活動や池上の情報発信を目的として、Facebook の運用を開始しました。また、会ホームページの内容充実を図るべく、会のあり方検討情報・過去の総会資料・池上まつり写真（第1回～17回）を掲載しています。ぜひご覧ください。

会 Facebook ページ



会ホームページ



池上まつり写真（HP 内）



2 活動記録（会のあり方検討関係）

段階	日付			内容
開始まで	2021 年	6 月	11 日	役員会：「会のあり方検討」の実施を決定
		7 月	9 日	役員会：検討メンバー、進め方を決定
ステップ 1		8 月	3 日	① - 1：ノミガワスタジオとの意見交換
			11 日	① - 2：SANDO との意見交換
			20 日	役員会：外部コーディネータ契約調整など
		9 月	3 日	② - 1：会の「実現・未達」「強み・弱み」などを議論
			17 日	③ - 1：会の「今後ありたい姿」などを議論
			30 日	③ - 2：会の「目的」「活動対象」「価値」などを議論
		10 月	12 日	役員会：ステップ 1 実施報告と提言を承認
ステップ 2			21 日	① - 1：新たな組織設計(案)の検討
			29 日	① - 2：各部会長と今後の事業活動・組織などを議論
		11 月	5 日	役員会：環境・防犯・防災部会の位置づけを議論
			12 日	② - 1：事務局業務の棚卸と組織設計(案)を議論
			25 日	③ - 1：事業部門の組織設計(案)を議論
		12 月	9 日	③ - 2：組織設計(案)の全体を見直し・調整
			16 日	役員会：ステップ 2 実施報告と提言を承認
ステップ 3	2022 年	1 月	6 日	① - 1：池上まつりの「考え方」「大きな方向性」を議論
			20 日	① - 2：(事業のブラッシュアップ)
		2 月	**日	① - 3：(事業のブラッシュアップ)
			**日	① - 4：(事業のブラッシュアップ)
		3 月	**日	① - 5：(事業のブラッシュアップ)

3 新たな組織設計（案）

【活動目的】

池上地区まちおこしの会は「池上を好きな人たち」が、「人のつながり」を大切にし、「池上でやりたいこと」を実現することで、池上がいきいきとした魅力あるまちになることを目的に活動する。

組織	役割
会長	会全体を統括し、代表する。
副会長	会長を補佐する。
事務局	会の組織運営を担い、円滑な事業遂行に寄与する。
総務担当	ア) 円滑な会の運営・活動を図るため、組織全体の調整を行う。 例： 各種連絡調整 / 総会・役員会運営 / 会員管理 / 活動計画の策定 運営スタッフのコーディネート / 他に属さないこと
財政担当	ア) 歳入を確保し、財政基盤の安定化を図る。 イ) 歳出を管理し、財政運営の健全化を図る。 ウ) 会が保有する財産を把握し、適正な管理を図る。 例： 会費の徴収・管理 / 支出管理 / 会計書類の作成 / 予算作成 新たな歳入確保の推進 / 物品管理
広報担当	ア) 池上地区の情報を発信し、更なる池上ファンを獲得する。 イ) 会活動を広報し、会の認知度向上を図る。 ウ) 情報公開を推進し、会運営にかかる透明性を担保する。 例： SNS・ホームページの運用 / 会報の作成 / 活動資料の整理・活用 広報媒体の作成・活用 / 会員獲得の推進
連携事業部	池上ファン（内外を問わず）との <u>つながりを生み出し</u> 、まちのエネルギーへと変えていく。
渉外担当	ア) 地域の「内と外」をつなぎ、「外から内へ」<u>人材の流れを生み出す</u>。 例： 池上ファンとのコミュニケーション（<u>会の入口にきた人との関係性づくり</u>） 池上内外のまちづくり人材へのアプローチ（まちづくり界隈でホットな方に個別接触）
事業グループ （・・・担当） （・・・担当）	ア) 池上ファン（内外問わず）との<u>接点</u>を生み出し、<u>活動参加への入口づくり</u>を行う。 イ) 多様な人材との<u>連携（コラボレーション）</u>を通じ、「<u>池上でやりたい</u>」を実現していく。 例： 梅まつりの実施 <u>定期的な勉強会の開催</u>（ex.池上語り場） <u>試行的事業の企画・実施</u>（ex.世界じゃんけん大会、フォトウォーク、風景画展）
池上まつり運営部	池上まつりの企画・実施を通じて「 <u>人のつながり</u> 」を <u>更に広げ</u> 、池上地区の発展に寄与する。
会計監査	決算を監査する。



主催：温 THE TOWN

協力：池上地区まちおこしの会・大田区池上特別出張所

いけまち

～ 池上のこれまでとこれから～



■ 「温 THE TOWNプロジェクト」は「まちの体温を少し上げる」をキーワードに、まちや暮らしに纏わる企画をする際の出口としてゆるやかに活動を進めています。

■ 2022年最初の企画として、これまで長きにわたってまちに関わってきた「池上地区まちおこしの会」さんをお迎えして、「いけまち談義～池上のこれまでとこれから～」を開催します。

■ 「会の活動を通してみてきた景色って？」
「最近池上に来た人には、まちはどんな風に見えるのか？」
「まちの居心地の良さってどんな所なんだろう？」
など、一緒にお話できたらと思っています。

【登壇者】

池上地区まちおこしの会

吉澤 正宣（同会 会長）

國廣 孝栄（同会 事務局長）

温 THE TOWN

アベ ケイスケ

（堤方4306・ノミガワスタジオ）

小薬 順法

（株式会社G.U.style）

ファシリテーター

佐瀬優子（アトリエ言景）

【こんな方にオススメ】

- ・ 最近の池上がどう変化しているか知りたい方
- ・ 若い人とつながりたい、まちの昔話を聞きたい方
- ・ 多世代交流で何かやってみたい方

- ・ I Love Ikegami^な人
- ・ 新しい出会いを求めている方
- ・ 全国世界中の池上ファンの皆様

2022年 1月30日（日）

13:00開場／13:30スタート（15:30終了）

会場：日蓮宗本山 大坊本行寺 客殿 牡丹・桔梗の間
（東京都大田区池上 2-10-5）

堤方4306 YouTubeチャンネルにてインターネット配信も行います →

